

各 位

2026年6月1日

上場会社名	株式会社ニチリョク	
代表者	代表取締役社長	渡邊 将志
(コード番号	7578)	
問合せ先責任者	取締役経営統括本部長	服部 聡昌
(TEL	03-6281-8470)	

2026年3月期計算書類等に係る監査意見不表明に関するお知らせ

当社は、2026年6月1日に、2026年3月期の計算書類等に関し、当社の会計監査人である監査法人ハイビスカスより、会社法第436条第2項第1号の規定に基づく監査について、監査意見を表明しない旨の監査報告書を受領いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 背景及び概要

当社は、監査法人ハイビスカスより、計算書類等に対して意見を表明する根拠となる十分かつ適切な監査証拠を入手することが出来ないことを理由とする、2026年3月期計算書類等に対する監査意見を表明しない旨の監査報告書を受領いたしました。したがって、当社はこの計算書類等に対する監査意見の不表明に伴い、当社の定時株主総会の決議事項として2026年3月期計算書類の承認を付議いたします。

2. 監査報告書の内容

受領した計算書類等に対する監査報告書の意見不表明の根拠は、次のとおりであります。

意見不表明

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、株式会社ニチリョクの2025年4月1日から2026年3月31日までの第60期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書（以下「計算書類等」という。）について監査を行った。当監査法人は、「意見不表明の根拠」に記載した事項の計算書類等に及ぼす可能性のある影響の重要性に鑑み、計算書類等に対する意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手することができなかつたため、監査意見を表明しない。

意見不表明の根拠

会社は、当事業年度の決算作業に遅延が生じたことに伴い、当監査法人に対する監査資料及び計算書類等の提出が著しく遅延した。このため、当監査法人は、計算書類等に対する必要な監査手続を監査報告書日までに完了することができず、計算書類等の数値に修正が必要となるか否かについて判断することができなかつた。

また、会社は前事業年度より継続して重要な営業損失を計上しているとともに、金融機関への借入金の返済猶予を要請している状況にある。これらの状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる状況が存在しているが、継続企業の前提に関する経営者による評価について検証するために必要な監査手続について、監査報告書日までに実施することができなかつた。そのため、提供された資金計画の実現可能性に関する十分な検討を行うことができず、継続企業の前提に関する重要な不確実性の有無について、十分かつ適切な監査証拠を入手することができなかつた。

計算書類等に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類等を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類等を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき計算書類等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

計算書類等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を実施し、監査報告書において意見を表明することにある。しかしながら、本報告書の「意見不表明の根拠」に記載されている通り、当監査法人は計算書類等に対する意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手することができなかった。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定（社会的影響度の高い事業体の財務諸表監査に適用される規定を含む。）に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

3. 計算書類の承認について

計算書類等に対する監査意見の不表明に伴い、当社定時株主総会の決議事項として計算書類の承認を付議いたします。

4. 今後の対応について

当社は、今回の監査意見の不表明に至った事由を厳粛に受け止め、適切に対処してまいります。

株主をはじめ投資家のみなさま、関係者のみなさまにご迷惑をおかけいたしますことを深くお詫び申し上げます。

以 上